

2018年2月2日 第3231回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 小林 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *横須賀学園 横須賀若葉幼稚園 事務長 竹 折 輝 虎 様

<誕生月祝> *上 林 茂 (S. 6.2.1) *鈴木 隆 裕 (S. 45.2.6)
 *鈴木 康 仁 (S. 26.2.7) *八 木 達 也 (S. 41.2.10)
 *平 田 文 彦 (S. 34.2.12) *浜 田 哲 二 (S. 24.2.18)
 *杉 山 雄 二 (S. 20.2.20) *Enora Rogers (S. 33.2.25) 各会員

<入会月祝> ・小 沢 一 彦 ・明 野 充 功 ・北 村 理和子 ・高 橋 隆 一 各会員
 ・瀬 戸 映 男 ・上 原 公 一 各会員

<会 長 報 告> *国際ロータリー日本事務局より
 ・ロータリーレート変更のお知らせ 2月1日より1ドル110円 (現行114円)

<委員長報告> *雑誌委員会 薦野副委員長よりロータリーの友2月号
 *出席委員会 植田委員長より1月分出席報告 1月平均出席率 75.34%

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
1月12日	114名	102名	74名	28名	4名	76.47%
19日	114名	102名	77名	25名	3名	78.43%
26日	114名	99名	63名	33名	7名	71.13%

<幹 事 報 告> *公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より申告用領収書について
 *抜粋のつづり その七十七
 *週報・・・横須賀北RCより 着

<出 席 報 告> *出席委員会 福西副委員長より2月2日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
114名	98名	63名	35名	1名	65.31%

<ニコニコ報告>

- ・上 林、八 木、Enora 各会員 誕生月祝いとして。
- ・小 沢、明 野、瀬 戸 各会員 入会月祝いとして。
- ・鈴木(孝) 会員 誕生月祝いとして(1月)
- ・三 役 中村英明会員、本日の新会員卓話よろしくお願ひいたします。
- ・瀬 戸、角 井、加藤 健、上 林、松 村、猿 丸、田 邊、井 莉、波 島、長 坂、鈴木 健、薦 野、澤 田、福 西、山 口、鈴木 健、谷、信 木、江 沢、根 岸、徳 永、長 澤、池 上、藤 村、兼 城、前 川、土 田、齋藤 健、渡 邊、新倉 健、清 水、三 堀、吉田 健、飯 塚、藤 原 各会員
 中村英明会員、本日の新会員卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。
- ・中村 健 会員 本日は新会員卓話の機会を頂きまして、誠にありがとうございます。よろしくお願ひ致します。
- ・三 役 東京ロータリークラブ会員、熊平雅人様より「抜粋のつづり」が届いておりますので御覧ください。
- ・岩 瀬、齋藤 健 両会員 先週の大雪につづき、今日も雪。本当に寒いですね。でも明日は節分、もうすぐ春です!

<新会員卓話>

中 村 英 明 会 員

本日、新会員卓話を担当させていただきました。昨年2月に入会させていただきました中村です。よろしくお願いいたします。

今日は、自己紹介を兼ねまして私の幼少の頃に人生を大きく変えました出来事と、職業柄、旅に関するお話をさせていただきます。

私は昭和41年9月ひのえうまの年に長野県北安曇郡池田町というところで生まれました。2016年11月に長野県の限界集落で大麻コミュニティが発見され、22名が一斉逮捕されたという事件のあった場所です。ちなみに親族で関わったものは一切ありません。

父の仕事の関係により、川崎市高津区で育ちました。幼少の頃はどこにでもいる普通の男の子だと思われていますが、小学校2年生の時に毎年学校で行われていたお祭りがあって、その中に1年生から6年生までの各クラス代表が男子女子1名ずつ、織姫と彦星の仮装をして、全校生徒の投票により優勝を決めるというイベントがあり、当然私は選ばれることなく、クラスの人気者が代表に選ばれて当日を迎えました。そこで、彦星役の人気者が衣装の準備を何も準備していなかったことが発覚し、困った担任の先生は突然仕方ないから、その衣装を忘れた彼に、裸になって絵の具で体に着物を書こうと言い出したのです。当然、彼は嫌だと泣き出して困っていた矢先に、何故か私がやりますと言ってしまい、いさぎよく裸でパンツ一枚になりながら、絵の具で全身に先生が着物を描いてくれました。クラス中の友達は大笑いしていましたが、私にとってはとても気持ちよかったことを覚えています。その姿でグラウンドに出て、30クラスはあった各クラス代表2名が、小学校の全校児童約1,200~1,300人の前に並んで、審査が始まります。周りは綺麗な衣装を身にまとった児童が並んでいる中に、ひと際柄の違う児童が一人いるわけです。審査は全校生徒が列を作って、仮装して並んでいる代表を端から端まで歩きながら、見て採点をするというものです。当然、私の前では誰もが立ち止まり、大笑いするわけです。結果は全校で優勝することになりまして、クラスでは一躍スター扱いされるようになりました。そこから、小学校では児童会長、中学校では生徒会長を務めることになりました。もっと言いますと、少年野球のチームでも声が大きくて、リーダーシップをとることができるからと体は小さいのに、キャッチャーをやらされることになりました。この担任の先生からボスを作って群れをなすマウンテンゴリラから『ゴリ』というあだ名まで付けられ、小学校、中学校、高校、大学卒業するに至るまでずっと『ゴリ』と呼ばれていました。

くだらないエピソードはこの位にして、旅に関する話をしたいと思います。題して『旅のチカラ』です。『旅』は課題解決の1つの手段として取り上げられています。

よく『かわいい子には旅をさせろ』といいますが、私が目の当たりにしてきた事でも、海外ホームステイをしている中高生が最初はホームシックにかかる生徒がいたりするのですが、2~3週間もの間、そこで生活していると自己主張がきちんとできるようになり、最終的にはホストファミリーとの別れの際には、帰りたくない涙を流している場面や、『同じ釜のメシを食う』修学旅行では、まとまりのないクラスの生徒同士が共通の体験を通して、一体感や絆を醸成することができたりします。会社で行われる社員旅行や業績優秀者を招待する褒賞旅行も社員同士のコミュニケーションを深めたり、モチベーションを高めたり、新たな気づきや学びを得る場の提供になっていることと思います。次元は違うかもしれませんが、私の家庭では夫婦喧嘩をした後に、『旅行に行こう』というだけで仲直りができるという効果もあります。

今更ながらですが、『旅』そのものではなく、その「効果」が大切だと思っています。非日常的な空間で行われるからこそその効果が大きいものです。

「旅」は近年、マーケティングやメンタルヘルス等、様々な場面での利用が推進されるようになりました。景気が悪くなると需要が減ることが多く、若い社員が社員旅行に行きたがらないとあって、やめてしまった



会社も多くあります。それによって、コミュニケーションをとれる機会もなくなり、一体感の醸成にも苦労されていることにも繋がっているような気がします。

つい先日弊支店の社員旅行で、スコットランドで発祥のカーリングを、日本で初めて実施したといわれている苫小牧にて、チームを作って対抗戦を行ってきました。ボーリング同様老若男女に関係なく、手軽に出来ますのでお勧めです。やはり間違いなく、社員同士の一体感は深まったものと思っています。

『旅』にはいろいろな出会いや感動、そして自分の内面を含めた新たな発見があります。皆さんも大変お忙しいことと思いますが、たまには、こうした「旅のチカラ」を利用し、人生に彩りを添えていただければと思います。

最後になりますが、私のJTB入社以降のエピソードについてお話させていただきます。私が入社して最初に配属されたのは川崎支店で、主に学校向けの営業をしながら16年間勤務しました。その後、新宿にある教育旅行東京西支店、次に教育旅行東京東支店と転勤し、東京都内のほぼ全ての学校を担当する事になりました。私は高校時代野球をやっていたので、高校野球を見るのが大好きです。そういう意味で学校担当の営業をしていた中で1番思い出に残っているのは、甲子園の応援団の幹旋でした。松坂大輔を擁する横浜高校が甲子園で優勝した大会でもお手伝いをさせていただきましたし、近年では早稲田実業の延長再試合の優勝の時にも応援団を連れて甲子園まで行ってきました。夜行バス50～60台で往復する仕事は大変でしたが、私の中では大変思い出深いものとなっています。ですから、横須賀支店に来てからは横須賀エリアで甲子園に出場する学校が出てくれればいはずっと思っておりまして、もし出場する学校があれば私自身が陣頭指揮を執って一生懸命応援したいと考えています。

私は横須賀支店に転勤する前、岡山県の倉敷支店の支店長を2年間勤め、ここで初めてロータリークラブに入会させていただきました。私は大のジャイアンツファンなのですが、倉敷エリアというところは倉敷商業を卒業した星野仙一の出身地であり、また広島県に隣接することからロータリークラブに阪神ファンと広島ファンの会員の方が非常に多く、ロータリークラブの初めての例会の時、私がジャイアンツファンだという紹介をしていただくと、早速ブーイングの洗礼を受けることとなりました。またロータリークラブの座席は自由席ですので、自然に阪神ファンのテーブルと広島ファンのテーブルに分かれてしまい、私はどちらに座ればよいのか迷ってしまったのを今でもよく覚えています。

初めてのロータリークラブでは、そうした経験をさせていただきましたが、現在の横須賀ロータリークラブは会員数も114名の大所帯であり、倉敷と比べてもはるかに伝統あるクラブであると改めて感じています。

本日は、このような機会を与えていただきありがとうございました。ロータリークラブに入会し1年になりますが、会員の皆様から色々な話を伺うことができ、私も人生の幅を広げることができたと思っています。この場をお借りしまして、改めまして感謝申し上げます。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

<閉 会> 13:30 小林 会長

週報担当 吉田 啓司